

2019年4月10日

株式会社JR大分シティ

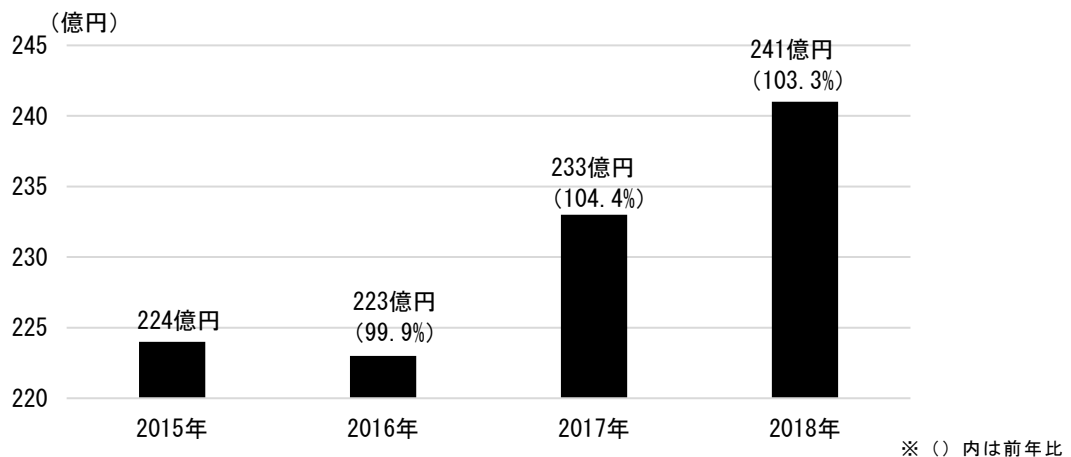
アミュプラザおおいた 2018年度概況

アミュプラザおおいたの2018年度（2018年4月～2019年3月）の概況についてお知らせします。

1. 売上高及び入館者数について

売上高 241億円（前年比103.3%）
入館者数 2,369万人（前年比104.5%）
売上高は過去最高、入館者数は開業年に次いで過去2番目

○ 開業4年間の売上高推移



○ コメント

アミュプラザおおいたは4月16日に開業4周年を迎えます。これまで約9,276万人のお客さまにお越しいただき、心より感謝申し上げます。

2018年度はJQカードの新規会員獲得や利用促進等による顧客化の推進、新店効果や催事・イベントの開催などにより、売上高は過去最高となりました。

これからも安全安心を基本に、常に新しいモノやコトをご提案し、より魅力的なアミュプラザおおいたへと進化していきます。また、地域の皆様や行政との連携を深め、大分市中心部の賑わいづくりと地域の情報発信に努めてまいります。

今後ともアミュプラザおおいたへのご愛顧並びにご支援の程宜しく願いいたします。

2. 概況

2018年度は7月の集中豪雨、9月の台風や暖冬による衣料品店の不調といった天候による影響に加え、4月からの営業時間短縮と2月には開業以来初となる休館日を実施しましたがJQカード会員の顧客化の推進や、リニューアルによる新店効果、ヒット作品に恵まれたシネマを始めとした大型店の好調等により、売上高は過去最高となりました。

○ アミュプラザおおいたの魅力づくり

「JQカード」の会員増とさらなる魅力の向上

JQカードの会員は順調に拡大しており、3月末時点で13万人（申込ベース）を突破しました。会員施策（JQカード5%OFF、JQカード10%OFFなど）は多くのお客さまに浸透し、引き続きご好評をいただいております。昨年度から年間20万円以上ご利用の方に対してご優待特典をご提供する施策を開始し、さらなるJQカードの魅力づくりを行いました。

新店舗オープンや季節感のある催事展開による新しいモノ、コトの発信

2019年1月から3月にかけて「新しさ」「話題性」「日常感」「親しみやすさ」「楽しさ」をキーワードに、全国で人気の店舗やお客さまより要望の高かった7店舗が新しくオープンしました。また、11月以降ヒット作に恵まれたシネマをはじめとした大型店や、新店効果で飲食店が好調に推移し、売上を牽引しました。

クリスマスやバレンタインなどの季節のニーズに対応した催事や大分初となる話題の店舗出店などを期間限定で開催し、ご来館動機や話題づくりにつなげました。

年間を通じて多くのイベントやワークショップを開催

大分駅前広場や屋上ひろばなどでイベントやワークショップを年間約270回開催し、集客や賑わいを創出しました。

<主なイベント>

大分駅祭り、府内戦紙、アイスワンダーランド、ディズニーパーク、イルミネーション点灯式、クリスマスマーケット、ちょこぱく、長縄跳び大会、平成人文字イベントなど

<主なワークショップ>

くにさき七島蘭ミサンガづくり、プログラミング、野菜Tシャツアートなど

○ 大分市中心部の魅力づくりと地域の情報発信

まちなかの皆さま、行政、地域の皆さまとの連携深度化や広域化に取り組み、大分市中心部の魅力や賑わいづくり、地域の情報発信に努めました。

まちなか連携

商店街や大型商業施設及び行政と連携し、話題づくりや集客・回遊施策を実施しました。9月に2回目となる「まちなかOSHARE月間」を開催したほか、3月には「大分のまちなか まちあそび人生ゲーム」を開催し、大分市中心部の回遊性向上とともに、消費の活性化を図りました。

<主な連携施策>まちなかバーゲン（7月、1月）、夢色音楽祭（10月）、

イルミネーション（11～2月）、歩行者天国（4月、9月、11月）など